

- ✓熊本港は、T S M C進出により物流拠点としての重要性が飛躍的に高まっている。
- ✓このようななか、熊本港を賑わいづくりの拠点としても発展を目指すため、『みなとオアシス※』への登録を国土交通省に申請。
- ※：国土交通省が、地域住民の交流、観光振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくり促進のため、みなとの主要な施設を住民参加による継続的な地域振興の取組が行われる施設として登録するもの
- ✓この取組を推進するため、令和6年4月に、熊本港の周辺地域団体や関係企業・団体、官庁で構成する「みなとオアシスくまもと運営協議会」を設立。

◆みなとオアシスの概要と熊本港施設の基本情報について

登録施設	代表施設	①熊本港フェリーターミナル ※観光案内施設、産地直売施設含む
	構成施設	②熊本港ハーバーピア ③熊本港親水緑地広場 ④熊本港芝生広場
役割	割	住民・観光客等の交流・休憩、地域観光・ 交通情報の提供、災害時の支援、商業機能等
他都市の事例		✓全国161箇所（R6.4.21現在） ✓県内では八代港、富岡港、牛深港が登録
これまでの熊本港での取組		
 熊本港フェスティバル  干潟観察会  花植え活動		

【基本情報】

設置者	熊本市
運営者	みなとオアシスくまもと運営協議会
所在港湾	熊本港【重要港湾】
港湾管理者	熊本県

【代表施設】

①熊本港フェリーターミナル





③熊本港親水緑地広場

②熊本港ハーバーピア

④熊本港芝生広場

■：みなとオアシス代表施設
■：みなとオアシス構成施設